



## 北海道産食品の輸出促進を目指して

— 苫小牧港発冷凍冷蔵小口混載輸送の取り組み —

2021年4月27日

苫小牧埠頭株式会社

苫小牧埠頭株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役社長 海津尚夫）は、北海道の優れた農水産品や加工品等の輸出を一層拡大するため、苫小牧港利用促進協議会による支援を活用して、3年目となるシンガポール向けの冷凍冷蔵小口混載輸送事業を継続します。

本事業は、苫小牧港が「食」の国際物流拠点化を目指すため、海上コンテナ1本に満たない小・中ロットの貨物や、航空運賃では割高となってしまうような道産食品に対し、2020年6月に竣工した温度管理型冷凍冷蔵倉庫「北海道クールロジスティクスプレイス」を集約拠点とした冷凍冷蔵小口混載輸送を実現し、低コストな海上運賃の提供と安定したコールドチェーンによって北海道の食の輸出促進を図るものです。

本事業は、シンガポールとの豊富な貿易経験を持つ㈱プライム・ストリーム北海道による商社機能や、道内各地に集荷・冷凍拠点を持つ㈱ニチレイ・ロジスティクス北海道による国内集配機能、世界レベルのグローバルネットワークを保有する日本通運株式会社によるフォワーディング機能などの協力の下、冷凍冷蔵 LCL サービス（注）を提供いたします。

### 【冷凍冷蔵小口混載輸送の概要】

項目	シンガポール向け
仕出し港	苫小牧港
仕向け港	SINGAPORE
期間	2021年4月～2022年3月
頻度	1回/月
温度帯	冷凍及び冷蔵
海上輸送日数	約18日間

以上

注) LCL とは Less Than Container Load の略で、1つのコンテナに複数の荷主の貨物を混載する輸送形態